

## 松本にて

国立病院機構松本医療センター  
作業療法士長  
服部 正治

現在、私は松本医療センターというところに在籍しています。この原稿を書いているのは平成26年の12月末ですが、今シーズンは寒波が例年より早く来て、長野県北部では大雪になっているようです。松本はと言えば今のところ雪の方はさほどではないのですが、寒さ自体はかなり厳しくて氷の世界になっています（この原稿を書いている朝方の気温はマイナス7度でした）。このくらいの気温になると台所の窓は結露したところが凍り付いてしまったり、外に面した壁が結露したりします。窓の結露は以前住んでいた場所でも当たり前でしたが、壁の結露は初めての経験。それを発見したのは壁にかけておいたジャンパーが湿っているような感じがして触ったところ、壁全体がびしょびしょになっていたのを見つけたからなのですが、ちょっとショックでした。結露はするのですが、湿度は40%くらいで非常に乾燥している不思議な世界です。

冬場は非常に厳しい環境になるようですが、その代わり晴れると宿舎の裏側に素晴らしい景色が広がります。左側から前穂高、鍋冠山、常念岳、横通岳、燕岳、爺ヶ岳、鹿島槍ヶ岳、五竜岳、白馬岳など北

アルプス連峰が一望できます。この時期になるともう高い山は雪化粧していますが、晴れた朝には山がピンク色に染まって、少し大げさかもしれませんが感動的な景色になります。

その綺麗な山も時折、牙をむいて恐ろしい面を見せることもあります。今年の長野県では、南木曾地区の土砂崩れ、御嶽山の噴火、白馬・小谷地区の地震と災害が多かった年でした。御嶽山の噴火の時には、被災された方の入院要請（実際にはなかったようですが）や検死医の派遣要請などがあったようです。松本市内の自衛隊の基地からは、毎朝早くから被災者捜索のためのヘリが御嶽山に向かって飛び立っていくのが見えていました。

これからは雪山の季節。美しい雪山は本当に魅力的なのですが、毎年、遭難する方も少なからずいるようです。いつかは行ってみたい気持ちはありますが、技術も装備も不十分なので今は眺めるだけで我慢したいと思います。特に中高年の遭難が取り沙汰されていることもありますので。

乱文でまとまりませんが、この辺で、平成27年は災害のない良い年になることを祈りつつ。



12月 常念岳 モルゲンロート 宿舎より